

小説

『緋色の残響』

長岡 弘樹 著

シングルマザー刑事の羽角啓子はずみ けいこの一人娘、菜月なつきが以前通っていたピアノ教室で、生徒が急死した。死因は食物アレルギーで事故と思われたが、菜月の行動で容疑者の人物が浮上する。新聞記者志望の菜月が、母親ゆずりの洞察力と行動力、粘り強さで事件解決の糸口を見いだす連作短編集。

小説

『空の声』

堂場 瞬一 著

ラジオクイズ番組の司会や、スポーツの実況など幅広く活躍し、玉音放送を担ったアナウンサー和田信賢わた のぶたか。大病を患いながらヘルシンキへ渡り、戦後初めて日本が参加するオリンピックを中継した。病魔と闘いながらも懸命に中継を続ける、ひとりの職業人の物語。

小説

『雪と心臓』

生馬 直樹 著

クリスマスの夜。火事の現場に遭遇した青年は、燃えさかる家から少女を救いだした。しかし、母親に手渡さず少女を車に乗せそのまま連れ去ってしまう。英雄から一転、犯罪者になった青年の運命は……。そこには、勇帆ゆうほと帆名はんな、双子の男女にまつわる二十余年の物語があった。

小説

『図書室のバシラドール』

竹内 真 著

直原高校に勤務するなんちゃって司書の高良詩織たから しおり。きちんと資格をとるために司書資格の勉強を始めたが、詩織のもとには本にまつわる謎や事件がおこり奔走する毎日。そんな中、図書室でビブリオバトルしおりをやりたいた図書委員たちが盛り上がるも、詩織の雇用契約の期限は迫ってきていた。

小説

『大一揆』

平谷 美樹 著

嘉永六年。重税の盛岡藩に対して、貧困となった民百姓が立ち上がった。一万六千人を超える農民一揆の先頭に立ったのは、一揆に初めて参加した三浦命助みうら めいすけ。命助は、数々の策を練り、巧みな話術で武士を翻弄していく。果たして民百姓が要望した要求は通るのか。

趣味 実用

『アーミッシュカントリーの美しい暮らし』

山中 麻葉 レシピ

アーミッシュは、キリスト教の1つの宗派であり、今から約300年前に誕生しました。電気や通信機器、自動車などのテクノロジーを使わず、今も昔ながらの農耕生活をし価値観を崩すことなく自給自足の生活を送る。そんな彼らのライフスタイルを、写真と文章で紹介しています。

趣味 実用

『レスキューナースが教えるプチプラ防災』

辻 直美 著

国際災害レスキューナースとして活躍するスペシャリストが教える、お金をかけずに100円ショップのグッズで日常的に地震対策を取り入れる防災術。地震だけでなく水害への対策や、効率の良い飲食の備蓄テクニックなど、災害発生から被災後を生き抜くための知恵とテクニックが満載です。

趣味 実用

『じつは食べられるいきもの事典』

松原 始 著

「カンガルーの肉はヘルシーな健康食」、「ラクダのコブは食べられる」、「サンタクロースの国ではトナカイを食べる」など、外国では日常的に食べられている生物や、諸外国の食文化をイラストで知ることができる一冊。実は食べられるという生物を60種類紹介し、料理例も掲載しています。

趣味 実用

『野菜まるごと畑のびん詰め 季節のファームキャニング』

西村 千恵 著

新鮮なオーガニック野菜や、廃棄されてしまう規格外の野菜もおしゃれなびん詰め（キャニング）に。びんの選び方や脱気の方法も掲載しています。収録されている多彩な写真から、季節の野菜やアレンジ料理の美味しさが伝わってきます。

趣味 実用

『派遣添乗員ヘトヘト日記』

梅村 達 著

添乗員のほとんどが旅行会社の社員ではなく、派遣会社に所属している添乗員が多い旅行業界。派遣としての不安定な仕事、添乗中のトラブル、ツアー参加者からの様々なクレームなど、50歳を過ぎてから派遣添乗員を始めた著者の15年超に及ぶ添乗員生活を日記形式でまとめた1冊。